



# 多様性が生み出した 「アメリカ音楽」の魅力



## 「ゴスペル」と「ブルース」

奴隷解放宣言後のアフリカ系アメリカ人が生み出した、「ゴスペル」と「ブルース」。「絶望」と「希望」の歌と表現される2つのジャンルには、どんな背景があるのでしょうか。

### ゴスペルとブルースのかかわり

ゴスペルもブルースも、西アフリカからアメリカ大陸に労働力として連れてこられた黒人の音楽から始まりました。どちらも奴隷解放宣言後に生まれた音楽です。神を讃えるポジティブな歌が多いゴスペルに対して、ブルースは日々の暮らしの酷さを嘆くネガティブな歌が多いことが特徴のひとつです。世界で最も影響力のあるゴスペル歌手の一人と言われるマヘリア・ジャクソンの、「ブルースは絶望を歌うけど、ゴスペルは希望を歌うのよ」という言葉のとおり、アメリカ音楽における陰と陽のような存在なのです。

### 教会音楽にブルースが融合した「ゴスペル」

ゴスペルのルーツは、1863年の奴隷解放宣言までアメリカ南部の黒人教会で歌われていた、「スピリチュアル」と呼ばれる黒人霊歌です。1920年頃、ゴスペルの父と呼ばれるアフリカ系アメリカ人のトーマス・A・ドーシー牧師が、「スピリチュアル」にブルースなどを掛け合わせた曲を作りはじめ、これにオルガンやピアノの伴奏やリズムが加わり、「ゴスペル」と呼ばれるようになっていきました。

スピリチュアルは聖書の言葉を歌詞にして無伴奏で歌う西洋的な曲でしたが、トーマス牧師はブルースのピアニストだったことから、ゴスペルにはブルースの音階である「ブルーノート・スケール」や「シンコペーション※1」、呼びかけと対応の「コール&レスポンス」というスタイルなどが取り入れられています。※1.強い拍と弱い拍の位置を通常と変えて、リズムに変化を与えること。

## ゴスペルの名曲

### Oh Happy Day

18世紀の賛美歌をもとに1967年にリリースされた『Oh Happy Day』は、1993年に公開されたアメリカ映画『天使にラブ・ソングを2』の劇中歌として注目を浴びました。「ゴスペル」というジャンルを日本に知らしめ、最も歌われているゴスペル曲のひとつです。

### Amazing Grace

世界的に知られている作曲家不明の賛美歌で、ゴスペルソングとしても有名な曲です。奴隷船の船長から牧師になったイギリスのジョン・ニュートンが、1772年に作詞しています。アメリカでもっとも人気のある賛美歌・ゴスペルソングといわれ、多くのアーティストに歌われています。

### あらゆる感情を詩にして歌う「ブルース」

ブルースは、1900年前後にアメリカの南部で生まれた音楽です。アフリカ系アメリカ人が、過酷な労働の辛さなどを農園での労働中に歌った「ワークソング(労働歌)」や、「フィールド・ハラー」という即興歌がもとになっています。アフリカ系アメリカ人の労働歌に、アイルランド系移民が持ち込んだ「バラッド※2」の物語性などが融合されてできたものと言われています。

ブルースの「ブルー」は、悲しみや憂鬱という意味の「ブルー」です。日々の暮らしの中で感じるあらゆる感情を歌うのがブルースなのです。ブルースは、メジャースケールに3音と5音、7音を半音下げた音を加えた「ブルーノート・スケール」という音階が基本になっています。Aという行を繰り返すAABという3行一組の歌詞を12小節に乗せる形式もブルースの特徴です。※2.イギリスなどで伝承されてきた物語のある歌

## ブルースのミュージシャン

### メイミー・スミス

1883年に生まれ、1920年に黒人女性歌手として史上初の録音を行なったメイミー・スミスは、ブルースの女王と呼ばれています。2作目の『Crazy Blues』は、1920年代のブルースブームの火付け役となりました。

### B.B. キング

B.B. キングの名で知られるライリー・B. キングは、1925年に生まれ、1950年代から晩年までブルース界の巨人として活躍しました。ブルース親善大使として世界中を訪れ広めた歌手、そしてギタリストとして知られています。

## 知識

### コール&レスポンスってなに？

リーダー(ボーカル)の呼びかけに集団が応えるのが、「コール&レスポンス」です。アメリカ南部の農園で過酷な労働を強いられた黒人奴隷は、彼らの故郷であるアフリカの「コール&レスポンス」というスタイルを踏襲し、畑仕事の辛さを紛らわせるために歌を歌っていました。コール&レスポンスは、やがてゴスペルやジャズに波及してアメリカ音楽のポピュラーな手法となり、ポップスやロックといった現代的な音楽でも多用されています。